

新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPU

4

April 2019
No.794



シニア教室「みんなで楽しく健康運動教室」(加茂市)
元プロキックボクサーの塚野真一様を講師に迎え、楽しく運動をしました。

4~5

特集

平成31年度 新潟県公民館連合会基本方針・事業計画(案)

CONTENTS

- 2 トピックス [第41回全国公民館研究集会 第59回関東甲信越静公民館研究大会栃木大会の開催について]
- 3 視 点 [地域のために] 新潟市中央公民館長 浅間 直美
ひろば [学びの郷南魚沼プラン] 南魚沼市中央公民館 前館長 佐藤 弘
掲 示 板 [関東ブロック会議予定] [公民館総合補償制度の申し込み]
- 6 実践記録シリーズ [シニア Cafe ~市内各地の自然・文化に触れ、小千谷のよさを発見しよう!~] 小千谷市公民館
- 7 サークル交流 [あせらず、ゆっくり、楽しみながら] (阿賀町) / 「アナログの響き再び」 (新潟市)
素 顔 拝 見 高橋 精一さん(上越市) / 宮下 純一さん(聖籠町)
- 8 お元気ですか [新たな視点で活動を!] 津南町・石澤憲一郎さん
ネットワーク [生涯学習推進職員のための「基礎研修会」開催]

TOPICS

第41回全国公民館研究集会
第59回関東甲信越静公民館研究大会栃木大会の開催について



令和元年度の第41回全国公民館研究集会・第59回関東甲信越静公民館研究大会栃木大会は、栃木県宇都宮市で開催されます。昨年は7年に一度の首都圏大会ということで東京都で開催されましたが、今年度から全国大会とブロック大会の同時開催となります。

これからの公民館の役割や地域づくりの方策について考える良い機会になると期待しています。多くの方から参加いただきたいと思います。

1 大会開催日

令和元年
8月22日(木)～23日(金)

2 大会テーマ

「公民館から発信する地域づくり」～地域課題解決をとおした地域コミュニティの活性化を目指して～



3 内容

8月22日(木) 12:00～16:00
会場：宇都宮市文化会館
開会行事、基調講演

4 分科会

8月23日(金) 9:00～12:00
会場：宇都宮市中央生涯学習センター
宇都宮共和国大

分科会と分科会内容

- 第1分科会 高齢者・シニア
 - 第2分科会 壮年
 - 第3分科会 子ども・若者
 - 第4分科会 家庭・学校・地域の連携
 - 第5分科会 地域文化伝承
 - 第6分科会 人権教育
 - 第7分科会 公民館の存在意義
 - 第8分科会 地域課題1 (教育分野)
 - 第9分科会 地域課題2 (諸問題)
- ・新潟県からは、第5分科会(地域文化伝承)で上越市牧地区公民館が事例発表を行う予定です。

○今後の開催予定

年度	回数	開催県
令和元	59	栃木
令和2	60	千葉
令和3	61	山梨
令和4	62	静岡
令和5	63	茨城
令和6	64	長野
令和7		全国東京大会
令和8	65	新潟
令和9	66	埼玉

○5月17日(金)に開催される第1回評議員会で、開催案内チラシを配布する予定です。また、正式に開催要項、参加申込書が届いたら各市町村に配布いたします。(広瀬)

「新潟県公民館月報」 毎月15日発行
いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部160円 年間1,920円(いずれも送料含む)

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107 新潟県公民館連合会 TEL・FAX025-266-7711



「学びの郷南魚沼プラン」

南魚沼市中央公民館
前館長 佐藤 弘

南魚沼市の公民館では、「学びの郷南魚沼プラン」をもとに市民の生涯学習を支援するため様々な事業を展開しています。「学びの郷南魚沼プラン」とは、「学びあい・教えあい・伝えあい」そして輝く・わたしと地域」を基本理念として、市民が主役となり持続可能な平和で豊かなまちづくりを目指し、次世代へとつなげるために策定された生涯学習プランです。

平成29年度には事業開催のために、市民からアンケート調査に協力してもらい準備を進めてきました。そして、平成30年度には、学びの郷南魚沼を市民に周知するため様々な事業を展開してきました。これらの事業の中には、講演会や座学だけではなく、登山や地域の宝再発見ツアーなどの体験学習といった様々な学習活動延べ96回を12月までに開催しました。

学びの郷南魚沼では、個人、団体、企業を問わず地域の皆様からの様々な企画を募集し、「こんなことをやってみたい」「学びたい」といった意見集約を行い、事業を支援しています。今後も、公民館が支援しながら市民自身で「学びたい」事業を実施する「連携協働型の生涯学習システム」への転換を目指していきます。

視点



新潟市中央公民館長
浅間 直美

「地域のために」

公民館には「つどう・まなぶ・むすぶ」といった役割がありますが、地域が公民館に期待する役割は公民館の数だけあります。

新潟市の公民館は、平成22年に、「公民館職員は地域に出かけ、一緒に取り組み、地域を元気にします」と宣言し、以降、公民館改革研修を実施しています。平成30年度は職員全員が14グループに分かれて、研修の当日だけでなく、その後も何度か集まり、管理者である館長たちで日頃考えていることや思いをまとめたり、事業担当者が互いの館の事業を見学し事業の在り方を研究したり、施設管理や窓口業務担当者が日頃疑問に思っていることや感じていることを意見交換するなど、多様なテーマで研修は行われました。そして多くのグループから、職員は積極的に地域に出向き、事業を精査しながら地域の課題解決に取

り組もう、という報告があり、公民館が地域に必要とされるかどうかは、職員一人ひとりの意識と行動力にかかっているのだと改めて気づかされました。人口減少や超高齢社会、自治体の財源不足、さらには公民館の予算減、人員減など多くのハードルがありますが、これらも利用者の方たちのお力を借りながら、地域が元気になるためのお手伝いをしていきたいと思えます。

公民館には「つどう・まなぶ・むすぶ」といった役割がありますが、地域が公民館に期待する役割は公民館の数だけあります。

掲示板 HOT NEWS

「関東ブロック会議予定」「公民館総合補償制度の申し込み」

<関東ブロック会議予定>

第1回理事会

- ・日時 令和元年5月28日(火)
- ・会場 栃木県宇都宮市
ア 令和元年度役員及び事務局について
イ 令和元年度事業計画(案)及び予算(案)について
ウ 第59回関東甲信越静公民館研究大会栃木大会について
エ 関東甲信越静公民館連絡協議会表彰について

オ その他

<公民館> 総合補償制度の申し込み

公民館活動の事故等を補償する「公民館総合補償制度」の申し込みが5月1日(水)から始まります。適用は1年間です。毎月1日に随時加入申し込みができますが、申し込みは早めに。

問い合わせは 県公連事務局(025-266-7711) または、エコー総合補償サービス(株)(0120-636-717)

特集

平成31年度 新潟県公民館連合会基本方針・事業計画(案)

基本方針

我が国においては、人口減少の進行や人生100年時代の到来など、社会の大きな変化が起きています。

これまでも、行財政改革や市町村合併など様々な動向に大きく影響を受けながらも、公民館は地域住民の社会教育を推進する拠点施設として、また、地域づくり・人づくりの中核的機関として、地域住民や関係者の熱い努力により支えられ大きな成果を上げてきました。

しかし、近年は社会の変化とともに、各市町村では社会教育施設の老朽化や統廃合、指定管理者制度の導入事業の見直し、予算・職員の削減等、公民館を取り巻く状況は大きく変化しています。さらに、国の生涯学習組織改編や所管が教育委員会から首長部局への移管が可能になる等、公民館の意義や役割そのものが岐路・転換期にさしかかっていると受け止めざるを得ません。

このような中、公民館の歴史や伝統を誇りとしつつ、改めて地域課題や地域住民の暮らしに即応して、柔軟に対応していく公民館であることをアピールしていく必要があります。

また、多くの関係機関や関係者と積極的・柔軟に連携・協働して、強固なネットワークを構築していかねければなりません。

それぞれの公民館の運営では、地域の課題をはじめとして、生命・健康、人権、家庭・家族、地域の連帯、まちづくり、少子・高齢化社会、男女共同参画社会、国際理解、環境・エネルギー等の現代的な課題をとりあげ、事

業として実践することにより、公民館が、いつでも、どこでも、だれでも、公民館が地域にとつて欠くことのできない存在となるよう、「公民館力」をより一層向上させる工夫と努力が必要です。

県公民館連合会は「公民館力」の向上のために、県大会を開催するとともに各地区研修会の開催を支援し、職員の高質向上、組織の一層の結束を図ります。また、各公民館の活動を充実させるための各種情報提供に努め、関係機関等とのネットワークづくりを支援します。運営面では、財政運営の健全化を進め、負担金や事業の見直しなどの改善を図ります。これらの取り組みを主として、さらに、公民館が生涯学習推進の中核施設として学びの拠点、地域づくり・人づくりの拠点として一層重要な役割を果たすため、各行政機関・組織と連携し、地域住民の理解・協力を得ながら、次の5点を重点事業として取り組みます。

- (1) 関係組織との連携強化
- (2) 職員の資質向上を図る研修事業の実施
- (3) 情報収集の充実・提供
- (4) 主催事業、関係事業の実施と支援
- (5) 本会運営上の財政基盤の見直し

重点事業

1 関係組織との連携強化

関係組織との連携強化を図る。

- (1) 全国公民館連合会研修等諸事業への参加・協力
- (2) 関東甲信越静公民館連絡協議会との連携、本大

会の運営協力

- (3) 新潟県社会教育団体懇話会との連携
- (4) 新潟県社会教育行政機関・団体等との連携、事業への参加・協力

2 職員の資質向上を図る研修事業の実施

上・中・下越地区公連・新潟市研修会の共催及び県立生涯学習推進センターの研修事業への参加により、効率的な研修を推進し、職員の専門的知識・技能の向上を図る。

- (1) 上・中・下越公連・新潟市の職員、公運審委員等の研修の実施
- (2) 公民館長、職員の専門性・資質向上研修の実施
- (3) 県立生涯学習推進センターの研修事業への積極的な参加
- (4) 全国公民館セミナー研修会へ県内公民館職員の参加推薦
- (5) 研修資料の作成・提供

3 情報収集の充実・提供

多様な学習機会の提供・開発に関する情報の相互交換により、公民館事業の活性化に努める。

- (1) 新潟県公民館月報の販売促進と紙面内容のさらなる充実
- (2) 全公連の情報を得ながら、関プロ公連、地区公連との情報交換の促進
- (3) 研修資料等の作成・提供
- (4) ホームページの充実

- ①発行済み(前年度まで)の新潟県公民館月報のデータをホームページに掲載
- ②適切な情報更新
 - 役員・組織、規約、地区事業紹介、各種大会等計画・参加申込み等
 - 公民館名鑑、実践事例集の公開
- (5)70周年記念誌の作成(50周年以降の歩み)

4 主催事業、関係事業の実施と支援

県公民館大会の開催、関東甲信越静・全国公民館大会開催協力、各地区公連研修会の開催と支援

5 本会運営上の財政基盤の見直し

- (1)新潟県市長会、町村会及び全国公民館連合会への援助・要望
- (2)負担金見直し検討委員会の活動継続
- (3)事務局移転の検討

事業計画

1 役員会

- (1)評議員会……………年2回
 - ①5月17日(金)新潟市
 - ②2月12日(水)新潟市(令和2年)
- (2)理事会……………年3回
 - ①5月17日(金)新潟市
 - ②6月7日(金)新潟市
 - ③2月12日(水)新潟市(令和2年)
- (3)監事会……………5月8日(水)新潟市
- (4)正副会長会……………必要に応じて

2 専門委員会

- (1)公民館月報編集委員会……………年2回(7月、2月)
- 委員は各地区から選出の8名で構成

- (2)負担金見直し検討委員会…令和元年度 年2回
- 委員は理事9名で構成
- ①6月7日(金)新潟市
 - ②予備日 未定

3 上部組織連絡会議・研修会

- (1)全国公民館連合会総会……………年1回
- 会長、事務局長出席
- (2)関東甲信越静公民館連絡協議会理事会…年2回
- 会長、事務局長出席
- (3)関東甲信越静公民館連絡協議会理事研修会…年1回
- 会長、事務局局長出席

4 大会、研修会、講習会への参加

- (1)地区公民館大会、研修会
 - ～上・中・下越・新潟市 ブロック別実施～
- (2)第70回新潟県公民館大会
 - 令和元年7月19日(金)新発田市市民文化会館
- (3)県立生涯学習推進センター事業・研修会
 - ～以下上部団体研修～
- (4)第41回全国公民館研究集会
 - 第59回関東甲信越静公民館研究大会栃木大会
 - 令和元年8月22日(木) 23日(金)栃木県宇都宮市
- (5)第31回公民館全国セミナーへの参加
 - 令和2年1月 国立オリンピック記念青少年総合センター
- (6)関東甲信越静公民館連絡協議会
 - 理事会
 - ①令和元年5月28日(火)栃木県宇都宮市
 - ②令和元年11月8日(金)理事会・研修会 東京八重洲ホール
 - ③令和2年1月31日(金)千葉県船橋市

5 資料、刊行物の発行・斡旋

- (1)新潟県公民館月報の発行 794号～805号

- (2)公民館関係資料の発行
- (3)月刊公民館の販売事務に協力 公民館総合補償制度加入事務に協力
- (4)社会教育、公民館関係刊行物の紹介と斡旋

6 社会教育機関・団体との連携事業、運動

- (1)新潟県教育庁生涯学習推進課及び各教育事務所 社会教育課、新潟県立生涯学習推進センターの事業に協力
 - (2)新潟県社会教育団体懇話会の事業に協力
 - (3)新潟県生涯学習協会の事業に協力
 - (4)新潟県立図書館協議会の事業に協力*(斎藤)
 - (5)新潟県明るい選挙推進協議会の事業に協力*
 - (6)あしたの新潟県を創る運動に協力(浅間)
 - (7)健康づくり県民運動に協力
 - (8)社会を明るくする運動に協力*
 - (9)新潟県青少年健全育成県民会議の運動に協力
 - (10)人権擁護運動に協力
 - (11)新潟県読書推進運動協議会の事業に協力*(恋塚)
 - (12)新潟県社会福祉協議会の事業に協力
 - (13)新潟県租税教育推進協議会の事業に協力*(浅間)
 - (14)深めよう絆にいがた県民会議の事業に協力
 - (15)新潟県同和教育推進協議会の事業に協力*(斎藤)
- *委員委嘱団体()内は担当役員

特別委嘱

- 新潟県社会教育委員(米山)
- 新潟県高齢者大学運営委員(広瀬)
- 新潟県地域家庭教育推進協議会委員(広瀬)
- 大会来賓
- 新潟県社会教育研究大会(恋塚)
- 新潟県民福祉大会(恋塚)
- (新潟県ふるさとづくり大会)浅間

実践記録シリーズ

253 シニア Cafe

～市内各地の自然・文化に触れ、
小千谷のよさを発見しよう！～

小千谷市公民館

企画にあたって

シニアCafeは、老後の準備講座として3年目を迎えました。小千谷の文化や歴史、先人について学びながら、受講者の仲間づくりを目指してきました。

30年度は、市マイクローバスを使用して、小千谷各地域の現地学習を中心に年間5回講座を実施しました。時間を、昼食を挟み午前10時～午後2時とし、より交流が深まるように設定しました。全回参加を基本に20人募集したところ、希望者が多く、25人に増員し、スタートしました。

講座の様子

第1回「開講式・ワークショップ」

開講式で、開催の目的を説明しました。ワークショップでは、おぢや観光ボランティアガイドの会長から、小千谷の魅力について講話をしていただき、後半、グループワークで、学習したいことや行きたい所を話し合いました。小千谷の魅力を再認識し、学習への意欲が高まりました。

第2回「若柘地域の魅力を 目・耳・口で知ろう！」

中越大震災後、過疎化が進んだ中山間地の地域復興に取り組んでいる団体の代表の講話を聞き、地域復興にかける思いや苦労話にとても共感していました。その後、団体で経営している農家民宿や蔵



バーでの見学や昼食を楽しみ、交流しました。午後は、地域の景観と伝説の「真人むじなの穴」の見学をし、初回の現地学習を終えました。

第3回「東山地域の自然や人々の魅力について学ぼう！」

東山は、錦鯉や闘牛が有名ですが、昨年までに学習していったので、今回は自然や人々にしました。金倉山を中心とした自然の素晴らしさを味わい、その途中で、木喰観音を抱きながら管理人の方の説明を聞くことができたのは驚きました。



中越大震災で大きな被害を受けた塩谷地区の地域づくり組織の代表から、活動拠点5種庵で、大学生との交流による地域づくりの様子を伺うことができました。住民センターで農家民宿の特別弁当をいただき、受講生も、少しずつ顔見知りになり、話が弾むようになってきました。また、ここで活動している子育てグループの代表から手作り遊具や施設の話聞くことができ、一同、感心していました。

第4回「岩沢地域の文化財や地域づくりについて学ぼう！」

8月の暑い時期であり高齢者の健康に留意しながらの現地学習となりました。市の文化財である山城跡、桂林での見学では、意見を交わすなど積極的な姿が見られました。農家民宿で昼食をとりながら、地域活性の共同体の副代表から地域づくり



の話に聞き入っていました。暑い中でしたが、棚田や飯山線の列車の姿に心が癒される現地学習でした。

第5回「深地城址から小千谷の歴史を探ろう！」

これまでの中山間地ではなく市の中心地の現地学習でした。深地城の歴史、崖にいくつも見られる謎の洞窟、戊辰戦争に絡んだ歴史的施設を受講者でもある図書館長や地元の方を講師に多方面から切り込んだ学習となりました。昼食時は、河井継之助が小千谷談判決裂後に昼食を取ったと言われている料亭で、歴史の息吹を感じながら、弁当を味わいました。



講座を振り返って

30年度は、多く参加があり、実際に現場で、五感を働かせ、小千谷の各地の魅力を知ることができました。受講者から「これからは、市外から来た友人に、いろいろな場所やものを紹介できる。」と喜んでいました。

5回通しての講座だったので徐々に顔見知りになり、終了後、懇親会もすることができました。しかし、現地学習の時間が制約され、バスに乗っている時間も多く、学習するには窮屈な面もありました。受講者の中からも、「もっと、話を聞きたかった。」「交流する場が少なかった。」という声もあり、内容を精選し、じっくり学習し、そこで多様な形態で交流することも必要でした。今後は、それらの点を改善するとともに、受講者がより主体性を持てるように、工夫していきたいと考えています。

(小千谷市公民館 渡邊善則)



あせりず、ゆっくり、
楽しみながら

版画「するー会」

版画「するー会」は、平成17年に阿賀町公民館が行った版画教室が終了し、有志が「もうちょっと続けたいね」ということで版画「するー会」を作ったと始めました。

当初からの会員は私1人だけになりましたが、現在7人の会員が、毎週「ふるさと学習館」に集まって作品作りをしています。

彫刻刀を持つのは、小学校の時以来です。彫刻刀の持ち方から初めて、15年になりました。15年もやると、自分の思い通りに彫れます。頑張っているの、県展に入選する人も出てきました。腕もあがり、今では自分の好きな絵を彫って楽しんでいます。



会員は町の文化祭の展示を楽しみにしています。平成27年には、県立植物園のギャラリーで展示会を行い、たくさんの人に見てもらいました。版画「するー会」は、年寄りの会ですから、あせりず、ゆっくり、ゆっくりと、楽しみながら彫っています。毎年の年賀状作りは、返事が来るのが楽しみです。

阿賀町・版画「するー会」
奥田 董 記

アナログの響き再び

懐かしのレコード鑑賞会

愛好者が集まって立ち上げた、真空管アンプでレコード鑑賞する会「アナログの響き再び」は、白根学習館のラズベックホールを会場に毎月1回開催し、毎回約20名ほどが集まり、1年が過ぎました。
ほこりや、傷が付かないよう

に丁寧に扱うレコードから流れる、アナログの音は格別で、しばらく忘れていた、あの独特な音と時間を若き日の思い出と共に今一度取り戻したい昔を思い出して音楽と向き合えるのがレコードの良さ。これはいくら技術が進んでもアナログの音にはかなわないだろう。
会場である白根学習館のラズベックホール(客席505席)は、高音質で音楽をゆつたりと楽しめる空間で、鑑賞会を重ねる度に、参加者は音響の素晴らしさに感動している。

活動期間

毎月第2木曜日 午後1時半～3時 年間、全12回開催。
入会及び、お問い合わせ先

☎025・372・2535
近藤利夫まで



新潟市・懐かしのレコード鑑賞会
代表 新田 義法 記

上越市立保倉地区公民館
公民館主事 高橋 精一さん



上越市立保倉地区公民館に昨年の4月から勤務されている、高橋精一さんを紹介いたします。

何事にも真面目な高橋さんですが、特に力を入れているのが、月1回のペースで発行する「公民館だより」です。公民館の近況を発信するほか、地域行事の様子を取材し、活躍する地元の方々に日が当たるよう、日々工夫し、知恵を絞って取材と編集にあたっています。

そのおかげか、固定化されがちであった公民館利用者の層が広がり、今や地域からの信頼も厚く、頼りにされる存在です。

記者としての一面を持つほか、講座では、一人三役をこなす高橋さん。公民館主事として進行の傍ら、ご自身も熱心に受講され、自慢のカメラを片手に写真や動画を撮影し、参加者が講座の内容をいつでも復習できるよう記録しています。

そうした努力もあって、動画を使って自主練習をしていたレクダンスの講座から自主グループが立ち上がり、公民館にまた一つ賑わいが増えました。

公民館にとって今年はどうな1年になるのでしょうか。高橋さんの活躍に乞うご期待です。
(上越市教育委員会社会教育課(中央公民館)主事 丸山 聖乃 記)

聖籠町 町民会館

主任 宮下 純一さん



聖籠町の町民会館に勤務している宮下純一さんを紹介いたします。同僚からは「ジュンさん」の愛称で親しまれて

おり、平成29年度から、公民館と体育館、文化会館の複合施設の当館に配属され、今年で2年目となります。

仕事では、社会体育に社会教育、施設管理など、八面六臂の活躍をしています。また、毎月発行している『社会教育だより』を担当し、編集長としてその辣腕を振るっています。締め切り前になると原稿の催促や原稿のチェックに戦々恐々とする者も・・・。

一方で、仕事を離れるとジュンさんは、町民会館の柔剣道場で剣道の竹刀を振るい、また休日は白銀の世界でスノーボードのターンを決めています。

そんな多忙多趣味なジュンさんの一日の締めくくりはお酒。飲み会で乾杯すると、一気にジョッキの中身を飲み干します。その後もノンストップ、夜がふけるまで飲み続けるのでした。

(聖籠町町民会館 石田 守之(文) / 高橋明公子(画))

素
顔
拝
見

ネットワーク

令和元年度「基礎研修会」
 ◆講義と演習
 第1回 4月26日(金)
 「学びの本質を問う」
 ～自分を見つめ、自分を生かす～
 「生涯学習によるまちづくり」協働を効果的に推進するために」
 講師：佐々木英和 氏
 (宇都宮大学 教授)

第2回 5月20日(月)
 第3回 5月29日(水)
 「コミュニケーションの人間行動と心理を学ぶ」コミュニケーションの中でよりよく生きるためには」
 「調査研究法に基づくプログラム開発」
 講師：高橋 尚也 氏
 (立正大学 准教授)
 第4回 6月19日(水)
 「体験から学ぶ」事業の改善に向けて「フィダス」歩く関わりの中から学び気づく「チカラ」
 講師：杉山 茂一 氏
 (石山地区公民館 社会教育主事)

「事業改善と開発の実践」館を支え、地域を支える
 ●公民館連合会事務局
 田原理氏(前事務局長の退職にともない、新事務員に村木綾子氏が任用されました。)

生涯学習推進職員のための「基礎研修会」開催
 県立生涯学習推進センターでは、令和元年度の事業として次の研修会を開催します。

第2回 5月20日(月)
 第3回 5月29日(水)
 「コミュニケーションの人間行動と心理を学ぶ」コミュニケーションの中でよりよく生きるためには」
 「調査研究法に基づくプログラム開発」
 講師：高橋 尚也 氏
 (立正大学 准教授)
 第4回 6月19日(水)
 「体験から学ぶ」事業の改善に向けて「フィダス」歩く関わりの中から学び気づく「チカラ」
 講師：杉山 茂一 氏
 (石山地区公民館 社会教育主事)

「事業改善と開発の実践」館を支え、地域を支える
 ●公民館連合会事務局
 田原理氏(前事務局長の退職にともない、新事務員に村木綾子氏が任用されました。)

お元気ですか

「新たな視点で活動を！」

石澤憲一郎 (津南町)



4年前に退職したばかりの時、自分の自由な時間を持てる喜びとその解放感に心躍るものがありました。しかし、現実には年老いた両親のこと、今までは両親に任せきりにしてきた家の様々な仕事が目前に次々と現れ、自由気儘な生活は意外にも難しい現実が付きまわりました。そんな折、公民館図書室からお話があり図書室での仕事を少しばかりお手伝いさせていただ

くことになりました。図書室に來られる方々は小さなお子さんから高齢者の方まで年齢層は様々です。その中で、小さなお子さんを連れてくるお母さんたちの「思い」、特に子供たちを「自然」に触れさせたいと思ってお母さんたちが意外にも多いことに、驚きとともに嬉しさを感じました。昨年、自分自身の活動の幅を広げるために「森林インストラクター」の資格を取得し、自然に親しむこと、木や草花遊びの楽しさを伝える方法などをまさに模索しているその時でした。そして、たまたま図書室で、お母さんの子供に注ぐ「思い」に接することにより、子供たちが森の中で思いっきり遊び、木や自然に親しめるような活動をしていきたいと考えるようになりました。自然の中で子供たちが元気に遊ぶ姿を守りながら、自分自身も自然と戯れる子供のように目を輝かせることができれば、私はそれで十分満足なのです。

※「お元気ですか」コーナーは現役をリタイアした方がその後も元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

美しい国土と豊かな環境を未来の世代に

過疎地域には、安全・安心な食料や水の供給、エネルギーの提供、国土の保全、災害の防止、地球温暖化の防止等のほか、都会の人々のやすらぎや教育の場として、国民全体の安全・安心な生活を支える極めて重要な公益的機能があります。

私たちは、過疎問題の解決を国民全体の課題と捉え、継続した取り組みが必要であると考えています。

新潟県過疎地域自立促進協議会
 会長(出雲崎町長) 小林 則 幸
 新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内
 TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

◆新潟県内の過疎市町村(14市町村)
 長岡市、上越市、柏崎市、十日町市、村上市、糸魚川市、妙高市、佐渡市、魚沼市、阿賀町、出雲崎町、津南町、関川村、粟島浦村

編集後記

すっかり春らしくなりました。我が家の庭の植物も色とりどりに咲き乱れ、花壇を明るくしています。新年度がスタートしました。公民館月報4月号発行に際し、

年度末のお忙しい中ご寄稿いただきました皆様へ感謝申し上げます。また、私自身も新年度を迎え気分も新たに活動していきたいと思っております。よろしくお願いたします。(広瀬)

※お詫びと訂正

月報3月号8ページ「お元気ですか」のお名前に誤りがありました。
 (誤)杉浦 小夜子 (正)杉浦 小枝子
 杉浦様に深くお詫び申し上げます。